

# 津市における来日外国人の生活実態調査

平成21年度財団法人三重こどもわかもの育成財団助成事業

青少年育成調査研究事業

報告書

代表者 楠本孝

三重短期大学外国人問題調査研究PT

(地域問題研究所外国人問題調査研究プロジェクトチーム)

# 津市における来日外国人の生活実態調査報告書

三重短期大学外国人問題調査研究PT

## 1 調査の目的

三重短期大学地域問題研究所(2008年度以前は地域問題総合調査研究室)では、2007年度から外国人問題調査研究プロジェクトチームを立ち上げ、津市における多文化共生のあり方に関する調査研究を進めている。2007年度には、津市市民部及び教育委員会の協力を得て「津市における外国人児童・生徒の就学状況調査」を実施し、2008年3月にその報告書を公表した。2008年度には、調査内容を外国人児童・生徒の就学状況から義務教育就学年齢の子どもをもつ来日外国人家庭の生活実態調査へと拡大した。外国人の子どもたちの教育環境は、単に就学状況を調査しただけでは十分に把握することはできず、保護者の就労状況や将来への展望と密接に関係していると考えたからである。2009年度に行った本調査も、基本的に2008年調査を踏襲することとしたが、2008年9月のリーマン・ショック以降の急激な雇用環境の悪化の影響をより詳しく調査するために、保護者の就労状況に関する質問項目を増やした(質問4及び5)。

## 2 調査の方法

### (1)調査対象

調査対象は、2009年9月1日現在で津市に外国人登録している義務教育就学年齢の子どもとその保護者である。ただし、いわゆる特別永住者は、2007年調査及び2008年調査同様、調査の対象としていない。「来日外国人＝ニューカマー」の生活実態の調査が本調査の目的であることと、特別永住者の中には外国籍であることを公にしないで、日本人として生活している者もいることから、そういう家庭に一方的に調査用紙を送りつけることは避けなければならないからである。

2009年9月1日現在で津市に外国人登録している義務教育就学年齢の子どもは、623人であるが(表1参照)、このうち特別永住者である韓国籍・朝鮮籍の子どもは16人で、本調査の対象者は607人となった。世帯数では470世帯である(表2参照)。

### (2)調査方法

郵便によるアンケート調査と戸別訪問によるヒヤリング調査を行った。いずれの調査も、保護者に対して質問し、回答していただき、子どもには質問していない。ヒヤリング調査は調査対象者が

ら直接話を伺うことができるという点で濃密な調査ができるが、本調査ではアンケート調査でヒヤリング調査に応じてもよいと回答のあった方の中から、日程の調整がついた方のみ訪問したので、実施世帯が5世帯にすぎず、調査全体の中の位置づけとしては補助的なものに止まる。

アンケート調査は、アンケート用紙を郵送し、記入の上、同封の返信用封筒を投函してもらう方法で行った。兄弟姉妹については、世帯主に宛てて兄弟の人数分のアンケート用紙を送付し、子どもごとに別個に答えていただいた。

アンケート用紙は、前記のように 2008 年調査のものをベースにしなが、保護者の就労状況に関わる調査項目を追加する修正を加えた。アンケート用紙の翻訳は、NPO法人「伊賀の伝丸」と三重県国際交流財団に依頼して、別紙(ポルトガル語版)のような様式で 9ヶ国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語、タガログ語、インドネシア語、ベトナム語、タイ語、韓国語、英語)に翻訳していただいた。これ以外の言語圏の者に対しては、英語版のアンケート用紙を用いたが、無国籍の者にはポルトガル語版を送付した。世帯主が日本人である場合は、日本語のもので、いつ来日したか(質問 1)など日本人に対して意味を成さない質問を除いた様式のものを用いた。

### (3) アンケート用紙の回収率

返信されたアンケート用紙は、子どもの数にして 78 人(返信率 12.9%)、世帯数にして 63 世帯(13.4%)であった(このうち 1 人は児童養護施設の入所者である)。国籍別では、ブラジルが 57 人、45 世帯、ボリビアが 7 人、6 世帯、フィリピンが 12 人、7 世帯、中国が 7 人、7 世帯、ペルーが 2 人、1 世帯、チリが 1 人、1 世帯であった。

返信率 12.9%は、08 年調査の 17.3%を下回った。昨年より、質問の内容が込み入ったものになったことが影響しているかもしれない。また、もともと、この種のアンケート調査で返信していただけるのは、生活に比較的余裕のある方が多いと思われ、雇用の状況が昨年に増して悪化したことで生活に余裕を失った方も多く、返信率が低下したものと推測される。しかし、返信率低下の最も大きな要因は、宛先不明の数が 08 年調査では 46 人、36 世帯であったのに、09 年調査では 78 人、63 世帯と大幅に増加したことである。これは外国人登録と居住の実態との乖離が広がっていることを意味しており、雇用状況の悪化で来日外国人世帯の居住状況の流動化が一層進んだものと思われる。ちなみに宛先不明のものを除いた数を分母とした返信率は、08 年調査で 18.7%、09 年調査で 15.1%である。

## 3 調査の結果

### (1) 就労状況

09 年調査では保護者の就労状況を詳しく訊いた。

質問4では、世帯主とその配偶者に分けて就業形態を尋ねた。これを男女別に集計した結果が図4-1, 2, 3である。「失業中・休職中」と答えたものは、118人中22人(18.7%)、男女別では、男性で54人中6人(11.1%)、女性で64人中16人(25.0%)となっている。巷間伝えられる程ではないが、やはりかなりの高失業率であり、特に女性の失業者は4人に1人の高率になっている。62世帯のうち3世帯が両親ともに失業しており、母子家庭と思われる世帯が9世帯あり、このうち3世帯で母親が失業している。

質問6では、週あたりの労働時間を尋ねた。回答のあった116人のうち、30時間未満(失業中のものを含む)が42人(36.2%)であり、女性では64人中30人(46.9%)にもなる。逆に、かつては当たり前であった60時間以上働いているものは僅かに8人(6.9%)に過ぎない(図6-1, 2, 3参照)。

質問7は仕事への満足度を訊いているが、上のような厳しい就労状況にもかかわらず、84%のものが、「満足している」または「どちらかといえば満足している」と答えている。08年調査の91%と比較すれば、さすがに若干減少しているが、それでも満足度は高いといえるだろう(図7参照)。

## (2) 医療保険への加入状況

質問8は、医療保険への加入の有無を訊いた。健康保険への加入が46%、国民健康保険への加入が44%となっているが、未加入も6世帯、10%あった(図8参照)。08年調査では、健康保険が38%、国民健康保険が53%、未加入9%であったことと比較すると、健康保険への加入が進み、国民健康保険への加入が減少しているが、未加入が減っていない。未加入の理由は、国民健康保険の保険料が高額で払えないことにある。

入国管理局は、2009年3月の「在留資格の変更、在留期間の更新許可のガイドラインの改正」において、その8として「社会保険の加入していること」を設け、「社会保険への加入義務がある場合には、当該義務を履行していることが必要です。なお、平成22(2010)年4月1日以降は、申請の際に窓口で健康保険証の提示を求めるとなります」と規定していた。しかし、入国管理局は、その4月1日を目前にした2010年3月に再び同ガイドラインを改正し、第8項を削除し、代わりにリードの部分で「なお、社会保険への加入の促進を図るため、平成22(2010)年4月1日から申請時に窓口において保険証の提示を求めるとしてまいります」と述べるにとどめ、さらに続けてわざわざ「(注)保険証を提示できないことで在留資格の変更又は在留期間の更新を不許可とすることはありません」と記載した。この方針変更には、雇用情勢の悪化で保険に加入したくてもできない外国人が多数に上るなかで、社会保険への加入を在留期間更新の条件とすれば、却って大量の非正規滞在を生み出しかねないとの考慮が働いたものと思われる。

## (3) 子どもの就学状況

質問 9 では、子どもの就学状況を訊いた。87 %が日本の学校に通わせ、外国人学校に通わせているのは 8 %である。日本の学校にも外国人学校にも通っていないとの回答が 4 人あったが、このうち 3 人は帰国して母国の学校に通っていると記してあった。残る一人は、訪問調査による確認をしていないが(アンケートへの回答で訪問調査には「応じたくない」と記入されていた)、不就学の可能性がある(図9参照)。

08 年調査では、日本の学校への通学が 82 %、外国人学校への通学が 16 %であったことと比較すると、外国人学校へ通学するものの割合が減少している。雇用状況の悪化で、子どもを外国人学校に通わせることができなくなった世帯が多いものと思われる。

質問 10 では、子どもの受けている教育に満足しているかを訊いているが、「満足している」が 73 %、「どちらかといえば満足している」が 18 %で、合わせて 90 %以上が「満足している」としており(図10参照)、これは 08 年調査(「満足」70 %、「どちらかといえば満足」24 %)とほとんど変化がない。

#### (4) 永住志向と日本語学習への意欲

質問 11 では、将来の計画について訊いている。「将来は日本に永住したい」が 36 %、「できれば日本に永住したいが、まだ未定」が 26 %、合わせて 62 %が永住を志向している(図11参照)。これも 08 年調査(「永住」38 %、「できれば永住」20 %)と比較して大きな変化はない。ただ、「将来は帰国したい」と言い切っているものは 26 %で、これは 08 年調査の 34 %と比較して減少しているといえるだろう。2009 年 4 月から実施されている帰国支援事業などもあり、帰国を志向していた人たちの多くが帰国した可能性がある。

それでは、日本社会に定着するための重要なファクターになると思われる日本語能力はどうか。質問 13 は、保護者の日本語能力を訊いた。「話すのも、読み書きも十分」と答えた人は 19 %、「話すのはできるが、読み書きが不十分」が 32 %であるのに対し、日常会話程度が 27 %、あいさつ程度が 5 %となっている(図13参照)。これは、08 年調査(「話すのも、読み書きも十分」17 %、「話すのはできるが、読み書きは不十分」28 %、日常会話程度 36 %、あいさつ程度 13 %)と比較すると、日本語能力に自信を持っているものの割合が増えている。これには、日本語能力がないと雇用機会がないとされる現在の雇用状況が影響しているかもしれない。

一方、質問 15 は、保護者の日本語学習への意欲について訊いている。「学びたいと思っているし、現に学んでいる」が 25 %であるのに対し、「できれば学びたいが、学ぶ時間や機会がない」が 54 %となっている(図15参照)。80 %近くが日本語学習への意欲はあるが、50 %以上が学ぶ条件が整っていないと感じていることになる。今後は、日本語学習の機会を増やすと同時に、当該外国人の日本語能力に応じた日本語学習の仕組みを構築していくことが必要であろう。

表1 2009年度調査 学年別・国籍別・男女別の外国人児童・生徒数

	ブラジル		ボリビア		フィリピン		中国		ペルー		インドネシア		韓国朝鮮		その他		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
小 1	22	33	8	7	4	2	3	2	0	1	0	1	0	0	1	3	87
小 2	20	18	2	2	5	6	3	2	1	1	0	1	2	0	3	0	66
小 3	19	31	3	4	6	4	1	2	2	1	1	1	0	0	2	3	80
小 4	17	19	4	2	0	5	2	0	2	0	3	0	3	1	0	2	60
小 5	28	23	4	0	3	2	1	1	1	1	0	0	0	0	2	1	67
小 6	23	21	4	6	7	3	2	1	3	0	0	2	2	1	1	2	78
小 計	129	145	25	21	25	22	12	8	9	4	4	5	7	2	9	11	438
	274		46		47		20		13		9		9		20		
中 1	25	13	4	6	1	1	1	2	1	0	1	0	2	1	1	0	59
中 2	17	15	4	4	4	4	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	52
中 3	26	20	9	2	1	3	4	3	0	0	0	0	1	3	1	1	74
小 計	68	48	17	12	6	8	6	6	1	0	1	0	5	4	2	1	185
	116		29		14		12		1		1		9		3		
合 計	197	193	42	33	31	30	18	14	10	4	5	5	12	6	11	12	623
	390		75		61		32		14		10		18		23		

表 2

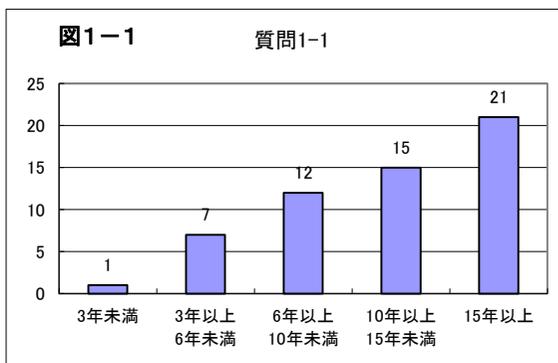
2009年度調査「来日外国人生活実態調査」調査対象者

国籍		世帯あたりの子どもの数				合計
		1人	2人	3人	6人	
ブラジル	人数	239	124	21	6	390 名
	世帯数	239	62	7	1	309 世帯
ボリビア	人数	40	28	7		75 名
	世帯数	40	14	3		57 世帯
フィリピン	人数	29	18	14		61 名
	世帯数	29	9	4		42 世帯
中国	人数	24	8			32 名
	世帯数	24	4			28 世帯
ペルー	人数	4	10			14 名
	世帯数	4	5			9 世帯
インドネシア	人数	5	2	3		10 名
	世帯数	5	1	1		7 世帯
マレーシア	人数	1	2	3		6 名
	世帯数	1	1	1		3 世帯
ベトナム	人数	4				4 名
	世帯数	4				4 世帯
パキスタン	人数		4			4 名
	世帯数		2			2 世帯
タイ	人数	3				3 名
	世帯数	3				3 世帯
モンゴル	人数		2			2 名
	世帯数		1			1 世帯
韓国	人数		2			2 名
	世帯数		1			1 世帯
ネパール	人数	1				1 名
	世帯数	1				1 世帯
バングラデシュ	人数	1				1 名
	世帯数	1				1 世帯
チリ	人数	1				1 名
	世帯数	1				1 世帯
無国籍	人数	1				1 名
	世帯数	1				1 世帯
合計	人数	353	200	48	6	607 名
	世帯数	353	100	16	1	470 世帯

※フィリピン国籍者61名の内2名はボリビア国籍者と同世帯

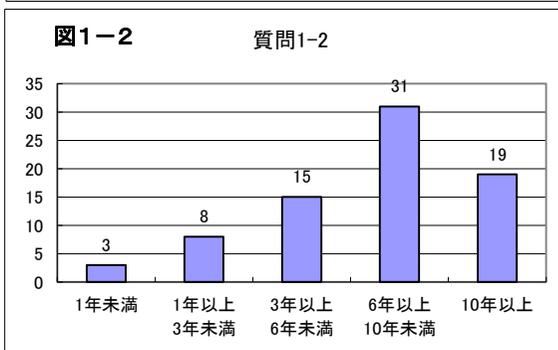
質問1-1

3年未満	3年以上 6年未満	6年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上
1	7	12	15	21



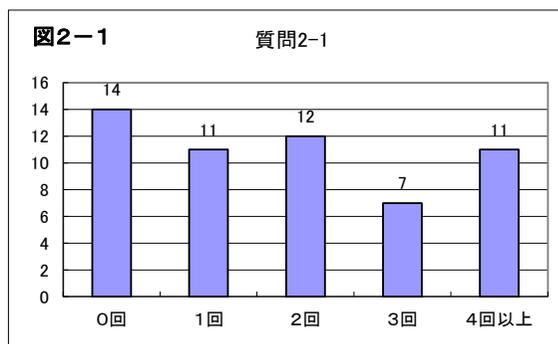
質問1-2

1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 6年未満	6年以上 10年未満	10年以上
3	8	15	31	19



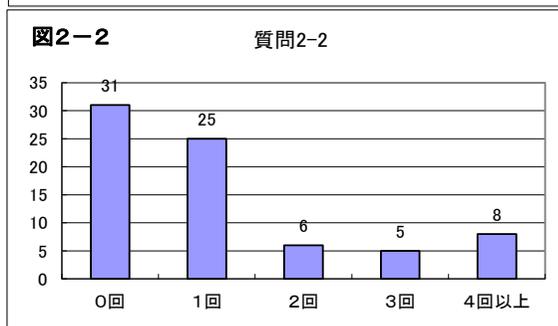
質問2-1

0回	1回	2回	3回	4回以上
14	11	12	7	11



質問2-2

0回	1回	2回	3回	4回以上
31	25	6	5	8



質問3-1

0回	1回	2回	3回	4回以上
1	4	9	13	28

質問3-2

0回	1回	2回	3回	4回以上
35	16	14	5	5

図3-1 質問3-1

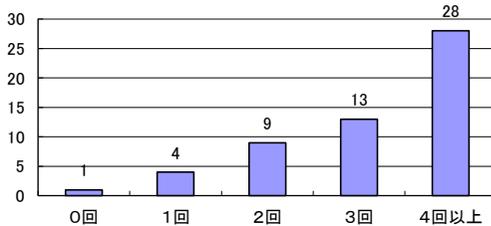
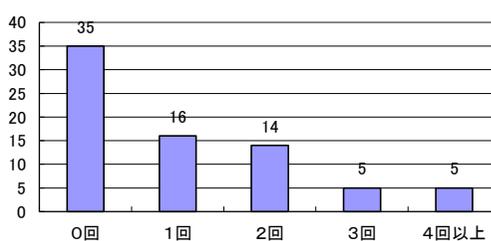
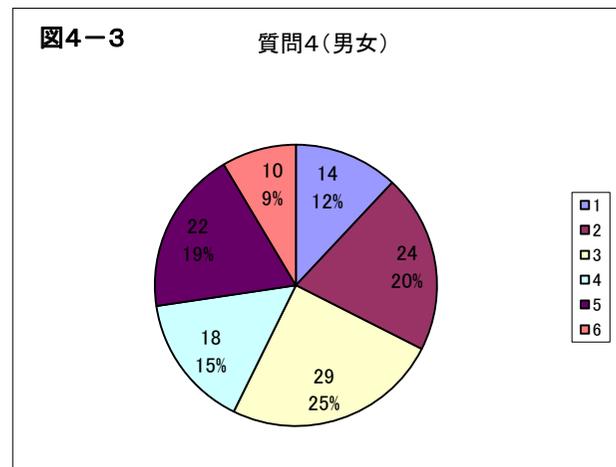
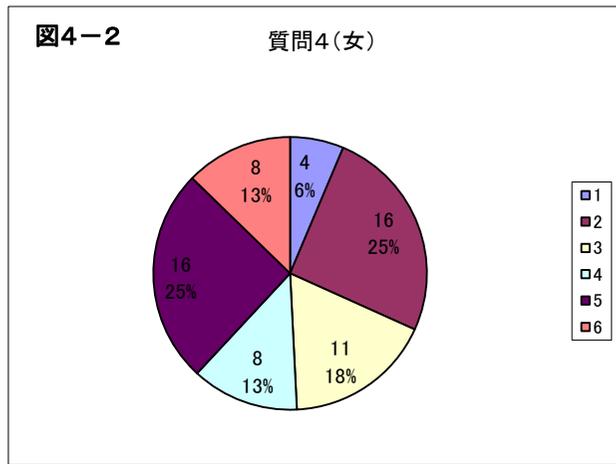
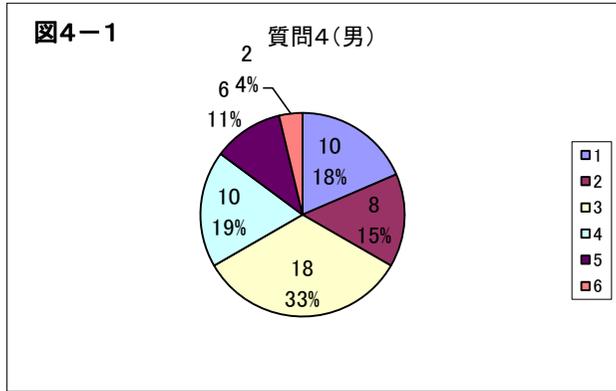


図3-2 質問3-2



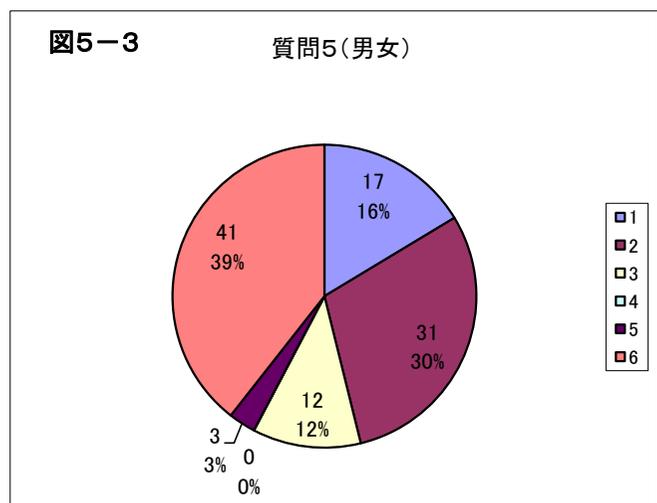
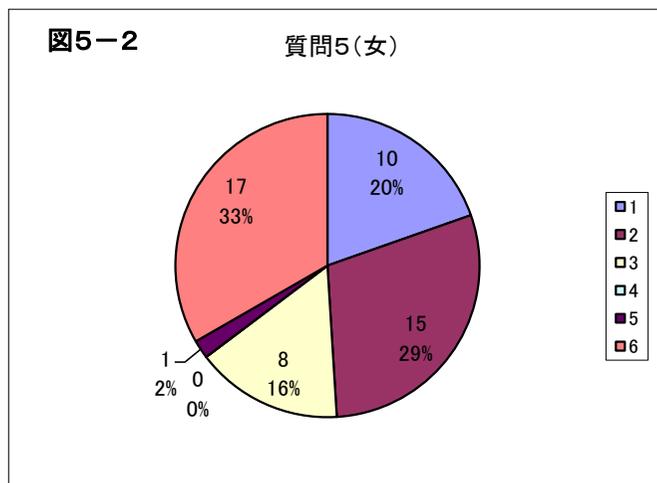
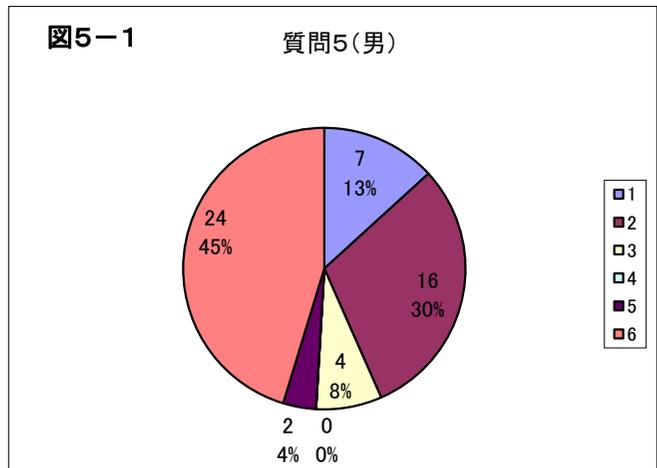
質問4	合計	
回答No.	男	女
1	10	4
2	8	16
3	18	11
4	10	8
5	6	16
6	2	8

計  
14  
24  
29  
18  
22  
10



質問5	合計	
回答No.	男	女
1	7	10
2	16	15
3	4	8
4	0	0
5	2	1
6	24	17

計  
17  
31  
12  
0  
3  
41

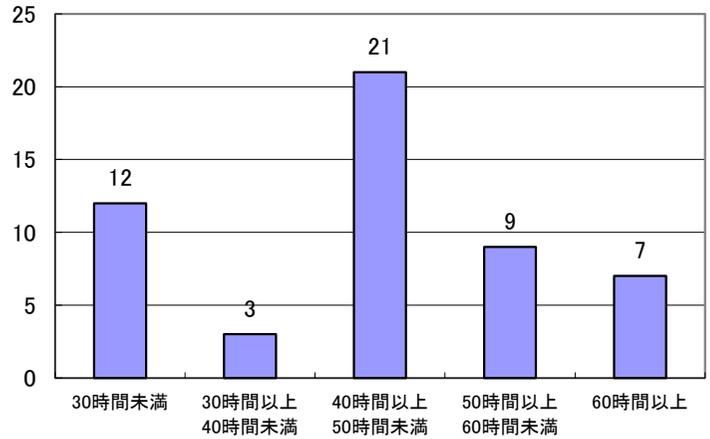


質問6(男)

	30時間未満	30時間以上 40時間未満	40時間以上 50時間未満	50時間以上 60時間未満	60時間以上
男	12	3	21	9	7

図6-1

質問6 男

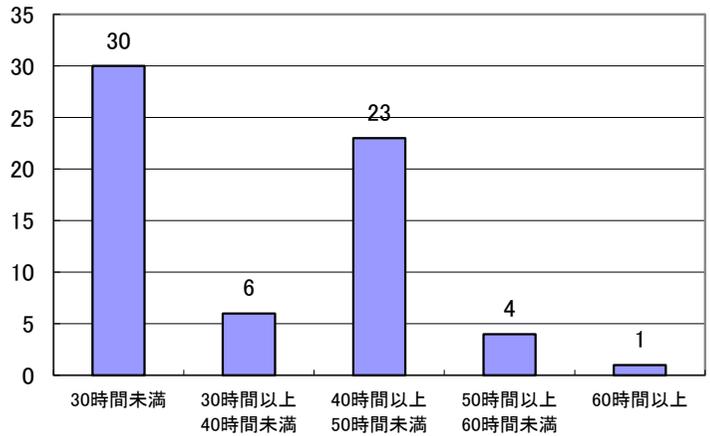


質問6(女)

	30時間未満	30時間以上 40時間未満	40時間以上 50時間未満	50時間以上 60時間未満	60時間以上
女	30	6	23	4	1

図6-2

質問6 女

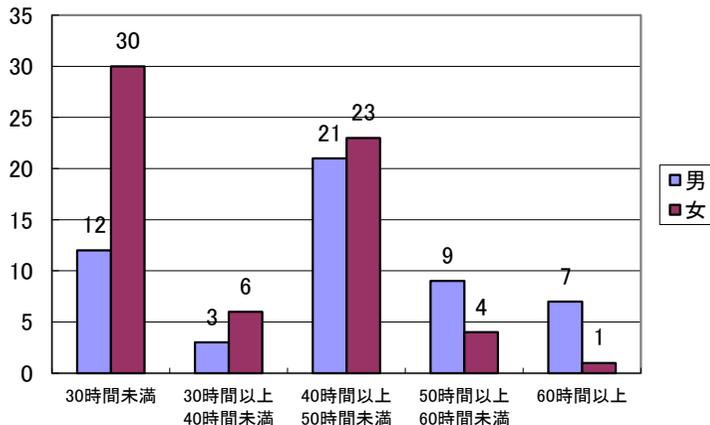


質問6(男女)

	30時間未満	30時間以上 40時間未満	40時間以上 50時間未満	50時間以上 60時間未満	60時間以上
男	12	3	21	9	7
女	30	6	23	4	1

図6-3

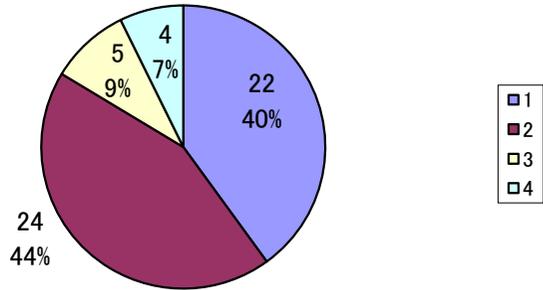
質問6 男女



質問7	
回答No.	人数
1	22
2	24
3	5
4	4

図7

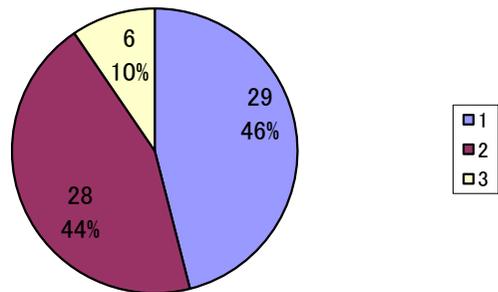
質問7



質問8	
回答No.	人数
1	29
2	28
3	6

図8

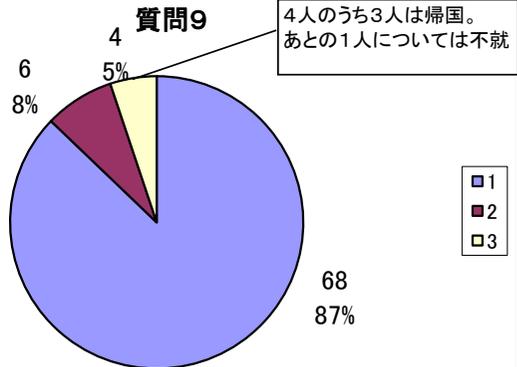
質問8



質問9	
回答No.	人数
1	68
2	6
3	4

図9

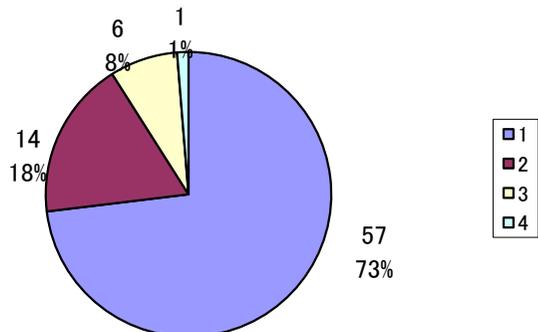
質問9



質問10	
回答No.	人数
1	57
2	14
3	6
4	1

図10

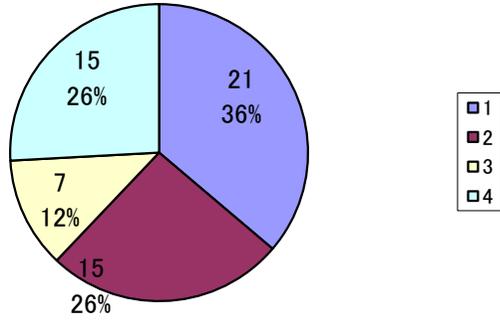
質問10



質問11	
回答No.	人数
1	21
2	15
3	7
4	15

図11

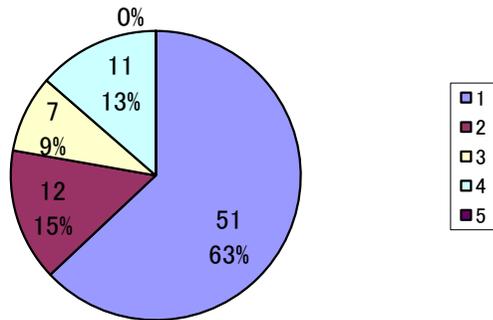
質問11



質問12	
回答No.	人数
1	51
2	12
3	7
4	11
5	0

図12

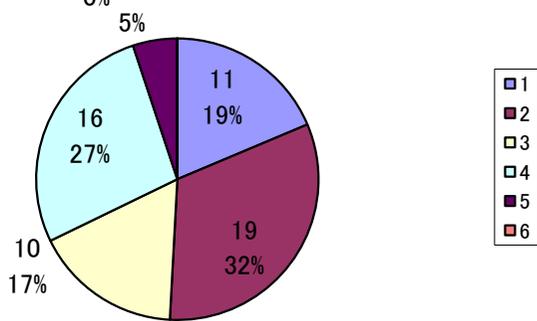
質問12



質問13	
回答No.	人数
1	11
2	19
3	10
4	16
5	3
6	0

図13

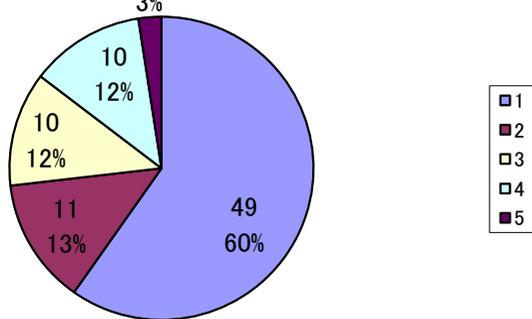
質問13



質問14	
回答No.	人数
1	49
2	11
3	10
4	10
5	2

図14

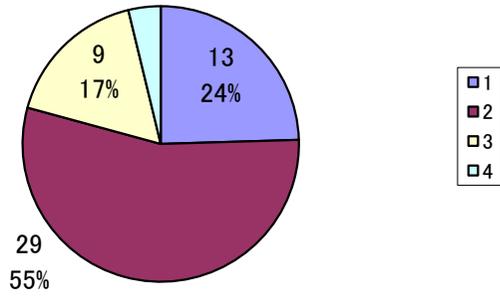
質問14



質問15	
回答No.	人数
1	13
2	29
3	9
4	2

図15

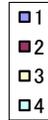
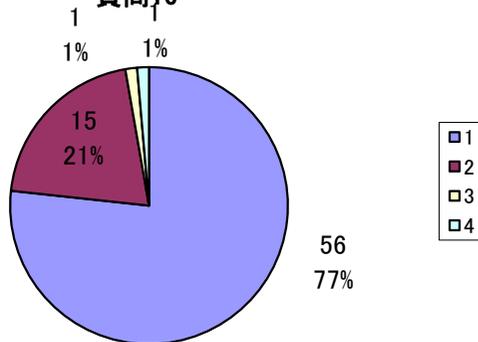
2 質問15  
4%



質問16	
回答No.	人数
1	56
2	15
3	1
4	1

図16

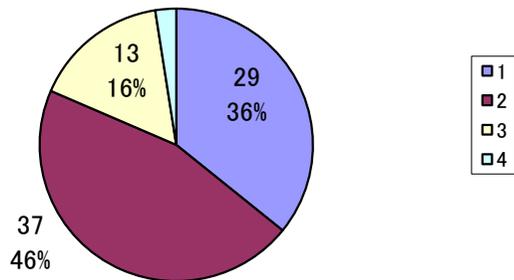
質問16



質問17	
回答No.	人数
1	29
2	37
3	13
4	2

図17

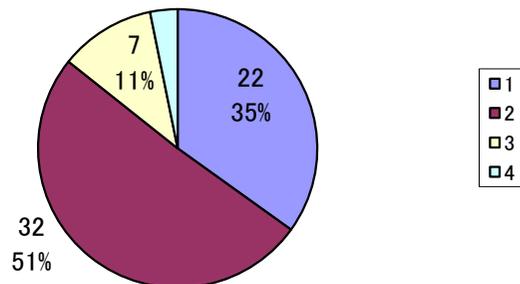
2 質問17  
2%



質問18	
回答No.	人数
1	22
2	32
3	7
4	2

図18

2 質問18  
3%



せいりばんごう  
整理番号

Número de cadastro

らいにちがいこくじんせいかつじったいちよう さ ちょう さ ひよう  
来日外国人生活実態調査 調査票

## Pesquisa sobre a situação dos estrangeiros residentes no Japão

はじめに、あなたの<sup>ねんれい</sup>年齢と<sup>せいべつ</sup>性別を教えてください。  
Primeiramente, escreva a sua idade e sexo.<sup>さい</sup>歳, <sup>おとこ</sup>男・<sup>おんな</sup>女  
\_\_\_\_ anos, Masculino · Feminino

しつもん

質問 1 Pergunta 11) あなたが<sup>はじ</sup>初めて<sup>にほん</sup>日本に<sup>き</sup>来たのはいつですか。<sup>ねん</sup>年 <sup>かげつまえ</sup>ヶ月前

Quanto tempo faz que você veio ao Japão, desde a primeira vez?

\_\_\_\_ Anos e \_\_\_\_ meses

2) あなたのお子さんが<sup>はじ</sup>初めて<sup>にほん</sup>日本に<sup>き</sup>来たのはいつですか。

Quanto tempo faz que o seu filho (a) veio ao Japão, desde a primeira vez?

<sup>にほんう</sup>日本生まれであるときは、<sup>う</sup>生まれてから<sup>げんざい</sup>現在までの<sup>きかん</sup>期間を<sup>か</sup>書いてください。<sup>ねん</sup>年 <sup>かげつまえ</sup>ヶ月前

Caso o seu filho (a) nasceu no Japão, escreva o período desde a data de nascimento.

\_\_\_\_ Anos e \_\_\_\_ meses

しつもん

質問 2 Pergunta 21) あなたは、<sup>はじ</sup>初めて<sup>にほん</sup>日本に<sup>き</sup>来てから<sup>なんかいきこく</sup>何回帰国しましたか。<sup>かい</sup>回

Quantas vezes você retornou para o seu país?

\_\_\_\_ vezes

2) あなたのお子さんは、<sup>はじ</sup>初めて<sup>にほん</sup>日本に<sup>き</sup>来てから<sup>なんかいきこく</sup>何回帰国しましたか。<sup>かい</sup>回

Quantas vezes seu filho (a) retornou para o seu país?

\_\_\_\_ vezes

しつもん

質問 3 Pergunta 31) あなたは、<sup>はじ</sup>初めて<sup>にほん</sup>日本に<sup>き</sup>来てから<sup>なんかいてんきよ</sup>何回転居しましたか。<sup>かい</sup>回

Quantas vezes você mudou de endereço no Japão?

\_\_\_\_ vezes

2) あなたのお子さんは、<sup>はじ</sup>初めて<sup>にほん</sup>日本に<sup>き</sup>来てから<sup>にほん</sup>日本の<sup>がっこう</sup>学校、<sup>がいこくじん</sup>外国人<sup>がっこう</sup>学校を<sup>ふく</sup>含めて<sup>なんかいてんこう</sup>何回転校しましたか。<sup>かい</sup>回

Quantas vezes seu filho (a) mudou de escola no Japão?(Incluir escola japonesa e estrangeira)

\_\_\_\_ vezes

質問4 Pergunta4

あなたとあなたの配偶者の現在の就業形態についてお尋ねします。当てはまるものに○を付けて下さい。「5. 失業者・休職中」に○を付けた方は、いつ頃からその状態にあるのかを教えてください。また「6. その他」に○を付けた方は、分かる範囲で就業の形態を教えてください。配偶者については、あなたが現在配偶者と同居している場合にだけお答えください。

Atualmente, qual forma que você e seu cônjuge estão empregados? Circule a resposta correspondente. Quem escolheu o número cinco (Está desempregado ou está de licença), escreva desde quando está nesta situação. Quem escolheu o número seis (Outros), escreva o seu tipo de trabalho em detalhes. Referente ao cônjuge, somente responda se caso morar junto.

【あなたの場合 Quanto a você】

1. 正規の職員・従業員  
Funcionário efetivo
2. パート・アルバイト  
Trabalhador Curto-Período (Part) ou ARUBAITO
3. 労働者派遣事業所の派遣社員  
Trabalhador por empreiteira (HAKEN SHAIN)
4. 契約社員・嘱託  
Funcionário contratado  
(KEIYAKU SHAIN ou SHOKUTAKU)
5. 失業者・休職中  
Está desempregado ou está de licença

6. その他  
Outros

【あなたの配偶者の場合 Quanto ao seu cônjuge】

1. 正規の職員・従業員  
Funcionário efetivo
2. パート・アルバイト  
Trabalhador Curto-Período (Part) ou ARUBAITO
3. 労働者派遣事業所の派遣社員  
Trabalhador por empreiteira (HAKEN SHAIN)
4. 契約社員・嘱託  
Funcionário contratado  
(KEIYAKU SHAIN ou SHOKUTAKU)
5. 失業者・休職中  
Está desempregado ou está de licença

6. その他  
Outros

質問5 Pergunta5

あなたとあなたの配偶者が働いている産業についてお尋ねします。当てはまるものに○を付けて下さい。もし分からない場合は、「その他」に○を付けて、分かる範囲で教えてください。配偶者については、あなたが現在配偶者と同居している場合にだけお答えください。

Qual categoria industrial de onde você e seu cônjuge trabalham? Circule a resposta correspondente. Caso você não saiba bem, assinale no número seis (Outros) e escreva em detalhe. Referente ao cônjuge, somente responda se caso morar junto.

【あなたの場合 Quanto a você】

1. 製造業（電気・電子機器）  
Fabricação.(Eletricidade ou Produtos eletrônicos).
2. 製造業（自動車・自動車関係）  
Fabricação (Carros ou Referente ao carro).
3. 製造業（食料品加工、その他の製造業）  
Fabricação  
(Produtos alimentícios ou outro tipo de produção).
4. 小売・飲食業  
Varejo ou Serviços de refeição.
5. 外国人向けの店やレストラン  
Lojas ou restaurantes voltadas para aos estrangeiros.

6. その他  
Outros.

【あなたの配偶者の場合 Quanto ao seu cônjuge】

1. 製造業（電気・電子機器）  
Fabricação.(Eletricidade ou Produtos eletrônicos).
2. 製造業（自動車・自動車関係）  
Fabricação (Carros ou Referente ao carro).
3. 製造業（食料品加工、その他の製造業）  
Fabricação  
(Produtos alimentícios ou outro tipo de produção).
4. 小売・飲食業  
Varejo ou Serviços de refeição.
5. 外国人向けの店やレストラン  
Lojas ou restaurantes voltadas para aos estrangeiros.

6. その他  
Outros.

**質問6 Pergunta 6**

1) あなたは、現在週に何時間働いていますか。

Quantas horas semanais você trabalha atualmente?

時間

horas

2) あなたの配偶者は、週に何時間働いていますか。あなたが現在配偶者と同居している場合にだけお答えください。

Quantas horas semanais seu cônjuge trabalha? (Somente para pessoas que moram junto com o cônjuge).

時間

horas

**質問7 Pergunta 7**

あなたは、現在の仕事に満足していますか。当てはまるものに○を付けてください。また、そう考える理由も教えてください。

Você está satisfeito com o seu trabalho atual? Circule a resposta correspondente e escreva o motivo.

- |                    |                                    |
|--------------------|------------------------------------|
| 1. 満足している          | 1. Estou satisfeito.               |
| 2. どちらかといえば満足している  | 2. Estou mais ou menos satisfeito. |
| 3. どちらかといえば満足していない | 3. Não estou muito satisfeito.     |
| 4. 満足していない         | 4. Não estou satisfeito.           |

理由 Motivo

**質問8 Pergunta 8**

あなた又はあなたの配偶者は、医療保険に加入していますか。当てはまるものに○を付けてください。

Você ou seu cônjuge tem seguro médico? Circule a resposta correspondente.

- 職場の医療保険（健康保険）に加入している。  
Tenho o seguro médico do emprego (Seguro saúde).
- 地域の医療保険（国民健康保険）に加入している。  
Tenho o seguro médico da região (Kokumin Kenkou Hoken “Seguro nacional de saúde”).
- 医療保険には加入していない。なぜ、加入していないのか、理由も教えてください。  
Não tenho seguro médico. Escrever o motivo que não entrou no seguro.

理由 Motivo

しつもん  
**質問 9 Pergunta 9**

あなたのお子さんは、現在学校に通学していますか。当てはまるものに○を付けてください。また、どのような選択をしたのかも教えてください。

Atualmente, seu filho (a) frequenta a escola? Circule a resposta correspondente e escreva o motivo da sua decisão.

1. 日本にほんの学校がっこうに通かよっている (学校名がっこうめい) )  
Frequenta a escola japonesa. (Nome da escola: )
2. 外国がいこくじん人学校がっこうに通かよっている (学校名がっこうめい) )  
Frequenta a escola estrangeira no Japão. (Nome da escola: )
3. 日本にほんの学校がっこうにも外国がいこくじん人学校がっこうにも通かよっていない  
Não frequenta a escola japonesa nem escola estrangeira.

りゆう  
理由 Motivo

しつもん  
**質問 10 Pergunta 10**

あなたのお子さんの教育きょういくについて、あなたは満足まんぞくしていますか。当てはまるものに○を付けてください。また、そのように考える理由りゆうも教えてください。

Você está satisfeito quanto à educação escolar do seu filho (a)? Circule a resposta correspondente e escreva o motivo.

1. 満足まんぞくしている 1. Estou satisfeito.
2. どちらかといえば満足まんぞくしている 2. Estou mais ou menos satisfeito.
3. どちらかといえば満足まんぞくしていない 3. Não estou muito satisfeito.
4. 満足まんぞくしていない 4. Não estou satisfeito.

りゆう  
理由 Motivo

質問 1 1 Pergunta 11

あなたの将来の計画についてお尋ねします。当てはまるものに○を付けてください。また、そのように考える理由も教えてください。

Pergunta sobre o seu plano no futuro. Circule a resposta correspondente e escreva o motivo.

1. 将来は日本に永住したい

Meu futuro é residir permanentemente no Japão.

2. できれば日本に永住したいが、まだ未定である

Se possível gostaria de residir permanentemente no Japão, mas ainda não decidi.

3. できれば帰国したいが、まだ未定である

Se possível gostaria de retornar ao meu país, mas ainda não decidi.

4. 将来は帰国したい

Futuramente, gostaria de retornar ao meu país.

理由 Motivo

質問 1 2 Pergunta 12

あなたのお子さんの進学についてお尋ねします。当てはまるものに○を付けてください。また、そのように考える理由も教えてください。

Perguntas sobre a educação escolar superior de seu filho (a). Circule a resposta correspondente e escreva o motivo.

1. 日本の高校・大学に進学させたい

Gostaria que meu filho (a) estudasse no colegial e na faculdade do Japão.

2. できれば日本の高校・大学に進学させたいが、まだ未定である

Gostaria que meu filho (a) estudasse no colegial e na faculdade do Japão, mas ainda não decidi.

3. できれば母国の高校・大学に進学させたいが、まだ未定である

Gostaria que meu filho (a) estudasse no colegial e na faculdade do país natal, mas ainda não decidi.

4. 母国の高校・大学に進学させたい

Gostaria que meu filho (a) estudasse no colegial e na faculdade do país natal.

5. 進学させるつもりはない

Não pretendo dar ensino superior.

理由 Motivo

質問 1 3 Pergunta 13

あなたは、日本語がどのくらい理解できますか。当てはまるものに○を付けてください。

Qual o seu nível de conhecimento do idioma japonês? Circule a resposta correspondente.

1. 話すのも、読み書きも十分にできる  
O suficiente para conversar, ler e escrever.
2. 話すのはできるが、読み書きは十分でない  
Consigo conversar, mas não sei ler e escrever o suficiente.
3. 読み書きはできるが、話すのは十分でない  
Consigo ler e escrever, mas não consigo conversar o suficiente.
4. 日常会話程度ならできる  
Consigo comunicar-me com diálogo simples.
5. あいさつ程度ならできる  
Só cumprimentos.
6. まったく理解できない  
Não compreendo absolutamente nada.

質問 1 4 Pergunta 14

あなたのお子さんは、日本語がどのくらい理解できますか。当てはまるものに○を付けてください。

Qual o nível de conhecimento do idioma japonês do seu filho (a)? Circule a resposta correspondente.

1. 日本の学校の授業が十分理解できるし、読み書きもできる  
Compreende o suficiente das aulas da escola japonesa, também sabe ler e escrever.
2. 日本の学校の授業を理解できるが、読み書きは難しい。  
Compreende as aulas da escola japonesa, mas sente dificuldade para ler e escrever.
3. 日本の学校の授業を理解するのは難しいが、日常会話ならできる。  
Sente dificuldade para compreender as aulas da escola japonesa, mas consegue comunicar-se com diálogo simples.
4. あいさつ程度ならできる  
Só cumprimentos.
5. まったく理解できない  
Não compreende absolutamente nada.

質問 1 5 Pergunta 15

あなたは、日本語を学びたいと思いますか。当てはまるものに○を付けてください。また、その理由も教えてください。

Você gostaria de aprender o idioma japonês? Circule a resposta correspondente e escreva o motivo.

1. 学びたいと思っているし、現に学んでいる。  
Quero aprender e estou estudando no momento.
2. できれば学びたいが、学ぶ時間や機会がない。  
Se possível, quero aprender, mas não tenho tempo e oportunidade para estudar.
3. 職場や日常生活で自然に身につく程度でよい。  
Poderia aprender no dia a dia, no local de trabalho ou naturalmente.
4. 学びたいと思わない  
Não penso em aprender.

理由 Motivo

### 質問 16 Pergunta 16

あなたのお子さんには日本語を習得してほしいですか。当てはまるものに○を付けてください。また、その理由も教えてください。

Você gostaria que o seu filho (a) aprenda o idioma japonês? Circule a resposta correspondente e escreva o motivo.

1. ぜひ習得してほしい  
Quero que ele(a) aprenda sem falta.
2. できれば習得してほしい  
Se possível, gostaria que aprendesse.
3. 普段の生活のなかで自然に身につく程度でかまわない  
Não haveria problema de aprender no dia a dia, naturalmente.
4. 日本語は理解できなくてもかまわない  
Não tem importância que não compreenda o idioma japonês.

理由 Motivo

### 質問 17 Pergunta 17

あなたのお子さんは、母語がどのくらい理解できますか。当てはまるものに○を付けてください。

Qual o nível de conhecimento da língua materna do seu filho (a)? Circule a resposta correspondente.

1. 会話も、読み書きもまったく問題ない  
Não tem nenhum problema ao conversar, ler e escrever.
2. 会話は問題ないが、読み書きが十分でない  
Consegue conversar, mas sente dificuldade para ler e escrever.
3. 会話も読み書きも十分でない  
Tem dificuldade para conversar, ler e escrever.
4. 母語が理解できない  
Não tem conhecimento da língua materna.

質問 18 Pergunta 18

あなたは、全体としてみて、現在の生活に満足していますか。当てはまるものに○を付けてください。また、その理由も教えてください。

Você está satisfeito com a sua vida atual? Circule a resposta correspondente e escreva o motivo.

- |                    |                                    |
|--------------------|------------------------------------|
| 1. 満足している          | 1. Estou satisfeito.               |
| 2. どちらかといえば満足している  | 2. Estou mais ou menos satisfeito. |
| 3. どちらかといえば満足していない | 3. Não estou muito satisfeito.     |
| 4. 満足していない         | 4. Não estou satisfeito.           |

理由 Motivo

日本社会への意見や要望があれば自由にお書きください。

Se houver alguma opinião ou desejo à sociedade japonesa, esteja livre para escrever.

意見または要望  
Opinião ou desejo

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。  
Agradecemos a vossa colaboração na pesquisa.

私たちの調査チームでは、外国人の方々の生活実態をより正確に把握するための聞き取り調査に応じていただける方を募集しています。聞き取り調査は、11月1日から13日までの期間を予定しています。あなたは、聞き取り調査に応じてよいとお考えでしょうか。当てはまるものに○を付けてください。

**Nós, da equipe de pesquisa, estamos à procura de pessoas que possam colaborar na pesquisa verbal para que possamos ter conhecimento da situação dos estrangeiros com exatidão. A pesquisa verbal será realizada a partir do dia primeiro ao dia 13 de novembro.**

**Você poderia receber a nossa visita pessoalmente? Circule a resposta correspondente.**

- |           |                         |
|-----------|-------------------------|
| 1. 応じてよい  | 1. Posso responder.     |
| 2. 応じたくない | 2. Não posso responder. |

「応じてよい」に○を付けられた方には、聞き取り調査の方法や日時を事前に打ち合わせるための文書を改めて送付いたします。その文書を見ていただいた上で、実際に聞き取り調査に応じるかどうかを決めてください。

**Enviaremos, antecipadamente, uma carta com o método, dia e horário da entrevista, para as pessoas que assinalaram o número 1. Leia a carta e decida se realmente pode colaborar com a pesquisa.**

みなさんはお忙しいと思いますが、津市における多文化共生のあり方を考えるための調査にご協力ください。

**Cientes por tomar o seu tempo, pedimos a cooperação na pesquisa para possibilitar a criação de uma sociedade multi-cultural na cidade de Tsu.**

## 津市における来日外国人の生活実態調査

平成21年度 財団法人三重こどもわかもの育成財団助成事業  
青少年育成調査研究事業  
報告書

提出日 平成22年3月20日

代表者 楠本 孝

発行 三重短期大学外国人問題調査研究PT  
(地域問題研究所外国人問題調査研究プロジェクトチーム)

〒514-0112 津市一身田中野157 三重短期大学内

TEL 059-232-2341 / FAX 059-232-9647